

2018/4/12版

2018年度公務員講座

国家総合職合格コース シラバス

< 法律職 >



エクステンションセンター

Syllabus

科目	人文科学
担当講師	永田 幸三
回数(コマ数)	19回(38コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

講義内容		
人文科学の範囲は非常に広いものです。高校までに学習した日本史・世界史・地理をはじめ、思想・文学・芸術など科目数が多い上にそれぞれの科目の内容も、決して容易な学習で解答できるものばかりではありません。そこで有効に学習を進めるために、試験傾向を徹底的に分析し、点数が取れるよう本講義で説明します。国家一般職レベルの基本演習、総合職レベルの応用演習も行います。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	【世界史】・古代ギリシア・ローマ ・中世西ヨーロッパ社会の誕生 ・十字軍と教皇権 ・ルネサンス
2	3・4	・宗教改革と地理上の発見 ・絶対王政・主権国家と市民革命
3	5・6	・近代国家の成立 ・列強の帝国主義
4	7・8	・戦間期の世界情勢 ・戦後世界と冷戦
5	9・10	・中国王朝史 ・イスラム世界
6	11・12	【日本史】・縄文、弥生時代の生活様式 ・律令国家 ・荘園の変遷と武士の台頭
7	13・14	・鎌倉時代 ・執権政治 ・室町, 戦国時代
8	15・16	・武断政治・文治政治 ・幕政改革 ・開国と討幕
9	17・18	・近代国家の幕開け・自由民権運動 ・日清, 日露戦争
10	19・20	・政党政治と軍部の台頭・戦後の政治史
11	21・22	・【文化史】文学史 芸術, 建築史
12	23・24	【思想】・古代ギリシア思想 ・経験論と合理論・ドイツ観念論
13	25・26	・功利主義とプラグマティズム ・現代思想 ・諸子百家 ・日本の思想潮流
14	27・28	【地理】・ケッペンの気候区分・様々な地形 ・農牧業の特徴 ・主要農産物と生産国
15	29・30	・世界の農牧業地域 ・鉱工業とエネルギー
16	31・32	・主要鉱工業地域 ・アジア地誌
17	33・34	・アフリカ地誌 ・ヨーロッパ地誌 ・南北アメリカ地誌 ・オセアニア地誌
18	35・36	人文科学基本演習1
19	37・38	人文科学応用演習1

Syllabus

科目	自然科学
担当講師	平井 俊久
回数(コマ数)	17回(34コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

講義内容		
自然科学の問題は、高校で学習した範囲が基本になっています。数学・物理・化学・生物・地学と5科目ありますが、ある水準の事項を理解していれば合格に必要な点数が取れます。文系出身の人は敬遠しがちな科目ですが、化学・生物・地学は基本的に暗記系の科目ですし、物理も知識のみで解ける問題が増えているので安心して下さい。一般職レベルの基本演習、総合職レベルの応用演習も行います。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	【数学】・数と式 ・方程式と不等式集合
2	3・4	・簡単な関数とグラフ, 指数関数・対数関数 ・図形と式 ・三角比 ・三角関数
3	5・6	・数列 ・微分 ・積分
4	7・8	【物理】・運動と力
5	9・10	・運動とエネルギー ・波動 ・熱力学
6	11・12	・電気 ・コンデンサー ・磁気 ・原子
7	13・14	【化学】・物質の構造 ・化学式 ・化学量 ・化学反応式 ・気体の性質・溶液の性質
8	15・16	・化学反応 ・酸と塩基・酸化と還元
9	17・18	・無機化合物 ・有機化合物 ・生活関連物質
10	19・20	【生物】・細胞, 発生・生殖, 遺伝
11	21・22	・ATP ・酵素, 同化, 異化 ・動物の恒常性
12	23・24	・植物の恒常性 ・刺激と動物の反応・動物の行動 ・生物の集団(生態系)
13	25・26	【地学】・太陽系の天体 ・恒星の世界
14	27・28	・気象と海洋 ・地球の内部構造・重力 ・火山活動の様子 ・火成岩
15	29・30	・地震とエネルギー ・造山運動 ・大陸移動, 地球の歴史
16	31・32	・自然科学基本演習
17	33・34	・自然科学応用演習

Syllabus

科目	数的処理
担当講師	平井 俊久
回数(コマ数)	22回(44コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象(数的処理入門を受講している事が望ましい)
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、17問中12問以上の正答を目指す。

講義内容		
数的処理は公務員試験に合格するためのカギとなる科目です。ジャンル・問題形式ごとのパターンを覚えていただき、基本的な解法をしっかりと身に付けていただきます。一般職レベルの基本演習を複数回、総合職レベルの応用演習を復習回設けています。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	【数的推理】方程式・不等式・文章題①
2	3・4	【数的推理】文章題②
3	5・6	【数的推理】整数の性質
4	7・8	【数的推理】場合の数と確率
5	9・10	【数的推理】図形
6	11・12	【判断推理】集合と論理
7	13・14	【判断推理】順序関係
8	15・16	【判断推理】位置関係・暗号
9	17・18	【判断推理】対応関係・試合
10	19・20	【判断推理】証言・その他
11	21・22	【空間把握】正多面体
12	23・24	【空間把握】投影図とスライス法
13	25・26	【空間把握】平面図形と位相
14	27・28	【資料解釈】選択肢の表現
15	29・30	【資料解釈】選択肢の読み取り①
16	31・32	【資料解釈】選択肢の読み取り②
17	33・34	基本演習①
18	35・36	基本演習②
19	37・38	基本演習③
20	39・40	基本演習④
21	41・42	応用演習①
22	43・44	応用演習②

Syllabus

科目	文章理解
担当講師	西尾 俊哉
回数(コマ数)	8回(16コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、11問中7問以上の正答を目指す。

講義内容		
文章理解の攻略はとにもかくにも分析的に読めるかどうかのカギを握っています。言い換えれば「コツ」をつかむ必要があるということです。課題文は単に読めればいいわけではありませんし、選択肢を絞るテクニックも重要になってきます。「読解」と「選択肢を絞る」という2つができてはじめて「文章理解」を得点源にすることができます。本講義でこうしたコツをお伝えします。基本演習、および応用演習を通じて実践力をつけます。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・現代文(趣旨把握問題)(内容合致問題)(文章整序問題)(空欄補充問題)
2	3・4	・現代文(文章整序問題)(空欄補充問題) ・古文 ・国語
3	5・6	・英文(内容合致問題)
4	7・8	・英文(内容合致問題)
5	9・10	・英文(空欄補充問題)(文章整序問題)
6	11・12	・英文(空欄補充問題)(文章整序問題)
7	13・14	・文章理解演習
8	15・16	・文章理解応用演習

Syllabus

科目	時事対策
担当講師	藤谷 浩史/與原 裕介/野間かおり
回数(コマ数)	6回(14コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	経済事情、社会事情、国際事情の講義をし、最新の時事を把握する。 教養試験の社会科学でも出題され、専門試験の一部でも出題される。

講義内容		
ここで扱う内容は論文試験や集団討論でも頻出であり、面接試験でも知っておいた方がよい知識といえる。 公務員を目指す者であれば、全員受講していただきたい。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・時事対策(社会事情)與原
2	3・4	・時事対策(社会事情)與原
3	5・6・7	・時事対策(経済事情)藤谷
4	8・9	・時事対策(社会事情)野間
5	10・11・12	・時事対策(経済事情)藤谷
6	13・14	・時事対策(国際事情)與原

Syllabus

科目	論文対策
担当講師	野間 かおり
回数(コマ数)	3回(6コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	合格レベルの答案を作成できるようにする。

講義内容		
論文はほぼ全ての公務員試験で課され、限られた時間内でルールを守り自分の考えをまとめた文章を書くことが求められており、近年重要度が増しています。 原稿用紙の使い方などの基本事項の確認から、採点時に評価されるポイント、論文を書くにあたって必要な知識までを網羅して説明します。 講義内でも実際に答案を作成する時間を設けますし、添削も行います。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・出題傾向 ・答案の一般的な書き方 ・テーマ別論文課題の捉え方
2	3・4	・情報 ・データの集め方 ・テーマ別論文課題の捉え方
3	5・6	・テーマ別論文課題の捉え方 ・市役所論作文の技法

Syllabus

科目	憲法
担当講師	郷原 豊茂
回数(コマ数)	11回(22コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、5問中4問以上の正答を目指す。

講義内容		
憲法全体を通して、憲法の基礎にある考え方を覚えておけば、他の法律科目においてもさらに理解が深まり知識が定着します。上位合格レベルの知識を身につけていただきます。科目別テストも行い、知識の定着を目指す。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・憲法の基本原理 ・憲法の分類 ・基本的人権の原理 ・基本的人権の限界①(公共の福祉・二重の基準)
2	3・4	・基本的人権の限界(特別権力関係・私人間効力) ・幸福追求権 ・法の下での平等
3	5・6	・思想良心の自由 ・信教の自由 ・学問の自由 ・表現の自由①
4	7・8	・表現の自由② ・職業選択の自由
5	9・10	・財産権 ・生存権 ・教育を受ける権利
6	11・12	・労働基本権 ・受益権・適正手続保障・その他の刑事手続上の権利
7	13・14	・統治総論 ・国会の地位
8	15・16	・組織・活動・・国会の権能と議院の権能
9	17・18	・内閣 ・司法権 ・裁判所の構成と権限・地方自治
10	19・20	・天皇その他 ・科目別テスト
11	21・22	・憲法演習

Syllabus

科目	憲法応用講義
担当講師	郷原 豊茂
回数(コマ数)	6回(12コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	憲法の講義受講者または同等レベルの知識
受講生の到達目標	国家総合職(法律区分)の試験を例とし、7問中6問以上の正答を目指す。

講義内容		
応用論点について詳細に説明する。人権分野については基本判例、統治分野については条文を確実に押えて、学説間の対立も含めて学習すること。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・総論
2	3・4	・基本的人権
3	5・6	・統治機構
4	7・8	・応用演習①
5	9・10	・応用演習②
6	11・12	・総まとめ

Syllabus

科目	憲法記述対策
担当講師	郷原 豊茂
回数(コマ数)	3回(8コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	憲法の講義受講者または同等レベルの知識
受講生の到達目標	専門試験(記述式)の配点比率が大きい。合格レベルの答案を目指す。

講義内容		
論文試験の分析の仕方と答案の書き方のポイントをつかんでいただく。本試験の過去問も見る。解答のポイントを説明しながら、模範答案をイメージさせる。実施に答案も書いていただき、添削も行う。 高い合格レベルの答案を目指す。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2・3	・人権享有主体性 ・包括的基本権と平等原則 ・精神的自由 ・経済的自由
2	4・5・6	・社会権 ・人身の自由 ・国家 ・内閣・司法
3	7・8	・財政 ・地方自治

Syllabus

科目	民法
担当講師	郷原 豊茂
回数(コマ数)	17回(35コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、10問中7問以上の正答を目指す。

講義内容		
総則・物権・担保物件・債権総論・債権各論・家族法と範囲が膨大なために、多くの受験生が苦手意識をもっていますが、本講義では理解しやすく記憶もしやすいように説明します。科目別テストも行い、知識の定着を目指す。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	【総則】・民法の全体 ・権利の主体
2	3・4・5	・法律行為 (1) ・法律行為 (2)
3	6・7	・代理 ・法人
4	8・9	・時効 ・所有権
5	10・11	・占有権 ・用益物権
6	12・13	・物権変動 ・即時取得
7	14・15	・担保物権の性質 ・抵当権
8	16・17	・債務不履行
9	18・19	・債務者の責任財産の維持 ・債権の消滅
10	20・21	・多数当事者間の債権関係 ・債権譲渡
11	22・23	・債務引受 ・契約総論 ・契約各論
12	24・25	・その他の契約 ・事務管理 ・不当利得
13	26・27	・不法行為 ・婚姻
14	28・29	・親子 ・相続
15	30・31	・科目別テスト
16	32・33	・民法演習1
17	34・35	・民法演習2

Syllabus

科目	民法応用講義
担当講師	郷原 豊茂
回数(コマ数)	7回(16コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	民法の講義受講者または同等レベルの知識
受講生の到達目標	国家総合職(法律区分)の試験を例とし、12問中10問以上の正答を目指す。

講義内容		
応用論点について詳細に説明する。比較的難易度が高く、合否を大きく左右する最重要科目である。条文を整理し、民法全体の構造を理解し、判例の趣旨をきちんと抑えること。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・総論
2	3・4	・債権総論
3	5・6	・債権各論
4	7・8	・応用演習
5	9・10・11	・応用演習
6	12・13	・応用演習
7	14・15・16	・総まとめ講義

Syllabus

科目	民法記述対策
担当講師	郷原 豊茂
回数(コマ数)	4回(8コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	民法の講義受講者または同等レベルの知識
受講生の到達目標	専門試験(記述式)の配点比率が大きい。合格レベルの答案を目指す。

講義内容		
論文試験の分析の仕方と答案の書き方のポイントをつかんでいただく。本試験の過去問も見る。解答のポイントを説明しながら、模範答案をイメージさせる。実施に答案も書いていただき、添削も行う。 高い合格レベルの答案を目指す。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・総則　・物権
2	3・4	・債権総論
3	5・6	・債権各論
4	7・8	・司法試験　民法記述

Syllabus

科目	行政法
担当講師	北村 祐人
回数(コマ数)	12回(24コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	憲法・民法で学習する基本的な知識
受講生の到達目標	各種公務員試験で行政法を得点源にできる知識を身に付ける。

講義内容		
近年の公務員試験行政法においては、基本的な判例や条文の知識を問う問題から、新判例や法改正の知識を問う問題まで、様々なタイプの問題が出題されています。「基礎レベルから積み上げて合格レベルに到達する」という方針のもと、出題傾向に沿った内容の講義を行うことを心がけます。また、本試験までの自学自習に役立つ補助教材の提供や、最新の過去問の演習・解説も行います。		
	コマ	講義予定
1	1・2	法律による行政の原理 法の一般原則 行政法と私法
2	3・4	行政組織 法規命令・行政規則
3	5・6	行政行為の意義 行政行為の効力 行政行為の瑕疵
4	7・8	職権取消・撤回 行政裁量 行政行為の附款
5	9・10	行政上の強制執行・即時強制 行政上の制裁 行政調査
6	11・12	行政計画 行政契約 行政指導 行政手続①
7	13・14	行政手続② 行政不服申立て①
8	15・16	行政不服申立て② 行政事件訴訟①
9	17・18	行政事件訴訟②
10	19・20	行政事件訴訟③ 国家賠償①
11	21・22	国家賠償② 損失補償
12	23・24	地方自治 情報公開・個人情報保護 公物

Syllabus

科目	行政法応用講義
担当講師	北村 祐人
回数(コマ数)	2回(4コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	公務員試験行政法の基礎～標準レベルの知識
受講生の到達目標	国家総合職1次試験において高得点を挙げるために必要な難易度の高い判例の知識を身に付ける。

講義内容		
国家総合職第1次試験においては、正確かつ豊富な判例の知識の有無が得点力の差になって現れます。「行政判例百選Ⅰ・Ⅱ(第7版)」(有斐閣)に収録されている判例を中心に、本試験において出題される可能性のあると思われる難易度の高い判例を取り上げて学習し、判例の知識を万全なものにします。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	総論・行政組織法・行政作用法
2	3・4	行政救済法

Syllabus

科目	行政法応用演習
担当講師	北村 祐人
回数(コマ数)	2回(4コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	公務員試験行政法の基礎～標準レベルの知識
受講生の到達目標	国家総合職試験の過去問の8割以上を正解できるようになること。

講義内容		
国家総合職試験の過去の出題問題の中から、良問を取り上げて演習・解説を行うことにより、1次試験合格のための「得点力」を養成することを目標とします。過去の本試験において出題された問題をできる限り多くかつ丁寧に検討し、そこで問われている判例や条文の知識を身に付けることが合格への第一歩であることを実感して下さい。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	総論・行政組織法・行政作用法
2	3・4	行政救済法・地方自治法・その他

Syllabus

科目	行政法記述対策
担当講師	北村 祐人
回数(コマ数)	5回(6コマ)
受講対象	国家総合職合格コース（法律区分）
必要な知識	択一式試験用の学習で身に付けた条文や判例の知識
受講生の到達目標	国家総合職レベルの長文の出題問題に対応できる「行政法合格答案の作成法」を身に付ける。

講義内容		
近年の国家総合職試験の出題問題を取り上げ、短時間で答案構成を考えて頂いた上で、解説を行います。国家総合職試験では、長文の問題文を読ませた上で、参考条文を手掛かりに、受験者の「現場で考える力」を問う問題が出題されます。1次試験終了後に慌てることのないよう、早いうちに2次試験の出題レベル・傾向を押さえておくことが大切です。		
回数	コマ	講義予定
1	1	平成29・30年度本試験出題問題の解説 行政法答案の書き方
2	2	基礎レベルの本試験出題問題の検討及び解説
3	3	標準レベルの本試験出題問題の検討及び解説
4	4	標準レベルの本試験出題問題の検討及び解説
5	5・6	応用レベルの本試験出題問題の検討・解説 答案作成・添削

Syllabus

科目	法律系択一演習
担当講師	北村 祐人
回数(コマ数)	9回(20コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	法律系科目の基礎～標準レベルの知識
受講生の到達目標	国家総合職1次試験に上位合格する。

講義内容		
各科目とも国家総合職1次試験で出題が予想されるテーマについて、過去問・新作問題の演習・解説を行います。「出題予想問題演習」では、近年の出題傾向を踏まえた予想問題の演習・解説を通じて、本試験で問われそうな重要新判例や法改正の知識を身に付けることを目標とします。過去問集・判例集などの合格に役立つ教材の提供のほかにも、試験直前まで、皆さんの合格のために必要な「最大限のサポートを行う」という方針の下、「受験生目線」で親身な対応を心掛けます。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2・3	必須科目(憲法・行政法・民法)①
2	4・5・6	必須科目(憲法・行政法・民法)②
3	7・8	必須科目(憲法・行政法・民法)③
4	9・10	必須科目(憲法・行政法・民法)④
5	11・12	選択科目(商法・刑法・労働法)①
6	13・14	選択科目(商法・刑法・労働法)②
7	15・16	出題予想問題演習・解説①
8	17・18	出題予想問題演習・解説②
9	19・20	出題予想問題演習・解説③

Syllabus

科目	ミクロ経済学
担当講師	藤谷 浩史
回数(コマ数)	14回(28コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、5問中3問以上の正答を目指す。

講義内容		
ミクロ経済学は重要科目の一つです。経済学的発想法と基本的な概念を身に付け、問題演習も行います。パターン化された「公式」や「解法」をお伝えします。また高度な数学を用いるのを最低限に控え、前提知識の水準を中学3年から高校1年に行っていますので、数学の苦手な人でも安心してください。 講義では科目別テストも行い、知識の定着を目指す。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・費用関数 ・平均費用,平均可変費用,限界費用
2	3・4	・利潤最大化 ・損益分岐点, 操業停止点 ・供給関数 ・供給の価格弾力性 ・課税の効果
3	5・6	・生産関数と利潤最大化 ・要素生産関数 ・効用と無差別曲線
4	7・8	・予算制約 ・効用最大化問題 ・需要関数
5	9・10	・需要の所得弾力性 ・需要の価格弾力性 ・需要の交差弾力性
6	11・12	・所得効果と代替効果 ・最適労働供給・異時点間の資源配分 ・リスク・顕示選好の理論
7	13・14	・市場均衡 ・市場の調整過程・産業の長期均衡 ・余剰分析
8	15・16	・エッジワース・ボックス ・独占 ・売上高最大化モデル
9	17・18	・差別価格モデル ・寡占理論 ・複占モデル
10	19・20	・寡占理論・屈折需要曲線 ・独占的競争
11	21・22	・ゲームの理論 ・市場の失敗 ・外部効果
12	23・24	・情報の非対称性 ・自由貿易と経済政策・比較優位の原理
13	25・26	・科目別テスト
14	27・28	・ミクロ経済学演習

Syllabus

科目	マクロ経済学
担当講師	藤谷 浩史
回数(コマ数)	13回(26コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、5問中3問以上の正答を目指す。

講義内容		
マクロ経済学は重要科目の一つです。経済学的発想法と基本的な概念を身に付け、問題演習も行います。経済原理と実際の経済との関係に注意をしながら学習し、理論を覚えるだけでなく、その背後にあるストーリーを語る事ができるように説明します。 科目別テストも行い、知識の定着を目指す。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・GDP, NDP, GNI ・国民所得統計と三面等価の原則 ・国際収支統計 ・物価指数とGDPデフレーター
2	3・4	・消費関数と貯蓄関数産業連関表 ・45度線分析 ・乗数理論 ・インフレギャップとデフレギャップ
3	5・6	・45度線分析Ⅱ・LM曲線
4	7・8	・債権価格 ・信用創造 ・貨幣需要と貨幣供給 ・IS-LM分析
5	9・10	・IS-LM分析 ・財政金融政策の効果
6	11・12	・科目別テスト① ・総需要曲線 ・労働市場分析
7	13・14	・総供給曲線 ・AD-AS分析 ・フィリップス曲線 ・IAD-IAS分析
8	15・16	・マネタリストモデル ・合理的期待形成モデル ・貨幣理論
9	17・18	・消費理論 ・投資理論 ・国際収支と為替レート ・開放経済版45度分析
10	19・20	・マンデル＝フレミングモデル ・ポリシーミックス・成長会計方程式
11	21・22	・ハロッド＝ドーマーモデル ・新古典派経済成長論 ・景気循環論
12	23・24	・科目別テスト
13	25・26	・マクロ経済学演習

Syllabus

科目	財政学
担当講師	藤谷 浩史
回数(コマ数)	7回(15コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	ミクロ経済学・マクロ経済学の受講者
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、5問中3問以上の正答を目指す。

講義内容		
経済学とは一味違い、制度・学說的等の知識を入れなくてははいけません。ミクロ経済学・マクロ経済学の内容を重複する部分があるので、新規に学ぶことは3分の2程度ですむ取り組みやすい科目でもあります。また時事テーマを扱うので、経済事情・社会政策等ともリンクします。科目別テストも行い、知識の定着を目指す。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・予算制度　・一般会計予算
2	3・4	・一般会計予算　・国債
3	5・6	・財政投融资　・国庫金制度　・財政に関する議論
4	7・8	・租税原則　・租税体系　・国の税制　・課税理論
5	9・10	・税制改正案の概要(国税)　・地方財政の制度　・地方財政計画
6	11・12	・地方財政決算　・地方の税制　・公共財　・所得再分配政策
7	13・14・15	・科目別テスト　・財政学演習①

Syllabus

科目	刑法
担当講師	郷原 豊茂
回数(コマ数)	5回(10コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家総合職(法律区分)3問中満点を目指す。地方上級試験(全国型)を例とし、満点を目指す。

講義内容		
総論各論の体系講義を行う。裁判所一般職試験を受ける者は、この講義と裁判所一般職対策講義を受講する事。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・刑法の基礎理念 ・犯罪論総説 ・構成要件該当性
2	3・4	・違法性 ・責任
3	5・6	・未遂罪 ・共犯
4	7・8	・罪数論及び刑罰の適用 ・総説
5	9・10	・生命, 身体に対する罪 ・自由に対する罪

Syllabus

科目	刑法応用講義
担当講師	郷原 豊茂
回数(コマ数)	3回(6コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	民法の講義受講者または同等レベルの知識
受講生の到達目標	国家総合職(法律区分)3問中満点の正答を目指す。

講義内容		
応用論点について詳細に説明する。判例のみで解ける問題も多いので、判例問題を重点的に勉強すること。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・因果関係論 ・正当防衛 ・緊急避難 ・具体的事実の錯誤 ・抽象的事実の錯誤
2	3・4	・違法性の意識 ・不能犯 ・共犯 ・個人的法益に対する罪
3	5・6	・社会的法益に対する罪 ・国家的法益に対する罪

Syllabus

科目	労働法
担当講師	井村 浩史
回数(コマ数)	4回(8コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	地方上級試験(全国型)を例とし、満点を目指す。尚、労働基準監督官を目指す方は、必ず受講して下さい。

講義内容		
労働法は、個別的労働関係と団体的労働関係を規律する法律です。公務員試験で問われているのは、重要な条文と重要な判例の理解です。覚える量は多くなく、効率的に点数が取れるように説明します。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・労働法の意義 ・労働基準法の一般原則 ・労働契約の成立と労働条件の決定
2	3・4	・就業規則 ・賃金 ・労働時間, 休日, 休憩, 年次有給休暇 ・労働関係の展開 ・労働契約の終了
3	5・6	・年少者, 女性, 非典型雇用 ・労働組合 ・団体交渉 ・労働協約
4	7・8	・争議行為 ・不当労働行為 ・労働委員会等

Syllabus

科目	労働法応用講義
担当講師	井村 浩史
回数(コマ数)	3回(6コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	労働法の講義受講者または同等レベルの知識
受講生の到達目標	国家総合職(法律区分)3問中満点の正答を目指す。

講義内容		
応用論点について詳細に説明する。重要判例をしっかりと覚えていくことが大切です。覚える量や出題される判例の数が少ないため、得点限にすること。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・労働基準法　・労働組合法
2	3・4	・労働基準法　・労働契約法
3	5・6	・労働組合法以外の分野

Syllabus

科目	商法
担当講師	井村 浩史
回数(コマ数)	4回(8コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国税専門官の試験を例とし、2問満点を目指す。

講義内容		
会社法、手形・小切手法と学習すべき範囲が広く、その専門性・技術性ゆえに初学者にとって学習が容易ではないですが、本試験は基本的知識を端的に問う問題がほとんどです。効率的に点数が取れるように進めていきます。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・会社法【全体像,会社の意義・種類,機関(株主総会～取締役会)】
2	3・4	・会社法【機関(代表取締役～取締役の責任・義務),会社法,株式資本(計算)
3	5・6	・会社法【会社の設立,組織変更・組織再編,商号,使用人,商業登記】 ・手形法【手形の意義・成立要件】
4	7・8	・手形法【他人による手形行為 ・手形行為の振出・裏書】

Syllabus

科目	商法応用講義
担当講師	井村 浩史
回数(コマ数)	2回(4コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	商法の講義受講者または同等レベルの知識
受講生の到達目標	国家総合職(法律区分)3問中満点の正答を目指す。

講義内容		
応用論点について詳細に説明する。 出題範囲に偏りがあるので、出題頻度の高い分野を中心に扱う。小切手法は民法的思考が必要なので、得意・不得意が分かります。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	・出題傾向対策 ・会社法
2	3・4	・手形法 ・商行為

Syllabus

科目	国際法(DVD)
担当講師	杉原 龍太
回数(コマ数)	14回(27コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	特になし
受講生の到達目標	国家総合職(法律区分)3問(政治国際区分)5問、いずれも満点を目指す。

講義内容		
国際法は、国際社会の共通語として全ての省庁が携わっています。 長年の国家総合職試験の分析で培われてきた情報の蓄積を元に、本試験で満点を目指すことも十分可能となるように講義いたします。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	国際法の法源,国際法と国内法の関係
2	3・4	国際法の主体,承認
3	5・6	承継,国家の基本権,国家管轄権
4	7・8	国家領域
5	9・10	海洋法
6	11・12	国際公域,国際化地域
7	13・14	私人
8	15・16	国際経済法
9	17・18	外交領事関係法
10	19・20	条約法,国家の国際責任
11	21・22	紛争の平和的解決
12	23・24	武力紛争の規制
13	25	応用演習①
14	26・27	総まとめ講義

Syllabus

科目	国総1次対策演習(憲法・民法)
担当講師	郷原 豊茂
回数(コマ数)	7回(14コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	憲法および民法講義受講者
受講生の到達目標	国家総合職試験1次試験対策および内定の為の情報提供

講義内容		
国家総合職について、内定獲得の為に早い時期から情報提供を行う。ホームルームを行いながら、答案練習会、問題集を通じて憲法と民法の精度を高めていく。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	ホームルーム・憲法対策
2	3・4	ホームルーム・憲法対策
3	5・6	ホームルーム・憲法対策
4	7・8	ホームルーム・民法対策
5	9・10	ホームルーム・民法対策
6	11・12	ホームルーム・民法対策
7	13・14	ホームルーム・民法対策

Syllabus

科目	政策立案講義
担当講師	近藤 秀臣
回数(コマ数)	5回 (12コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース (法文系)
必要な知識	特になし(中学校「公民」及び高等学校「現代社会」「政治・経済」もしくは「倫理」のうち1科目以上の基礎知識があればより望ましい)
受講生の到達目標	最終段階において、各種公務員試験における「小論文」及び「面接」「集団討論」、特に国家総合職試験「政策論文」及び「政策課題討議」、さらには「官庁訪問」等において高評価を獲得しうるような政策的思考力の基礎を涵養する。

<講義内容>

「政策」―「よくコトバは耳にするけど、何かつかみどころがないよね…」「何だかよくわからないうちにどこかで決められて、押し付けられてる感じってあるよね…」etc.「政策」という存在は、どこか、日常生活からかけ離れた、それでいてしっかりと取り囲まれている何だか奇妙なモノ…という印象を持たれがちです。しかし例えば、食品や水、建築物などの「安全性」をいちいち確認せずとも、多くの場合“安全”にそれらが使えるのも、教育機関や道路が利用できるのも、実のところすべて「政策」の産物なのです。本講義では、将来何らかの形で「政策」の直接の担い手となる「公務員」を目指す皆さんに、その「政策」に関する基礎的な見方・考え方、分析手法や立案手法等をご紹介します。公務員試験においていわば「政策的思考力」ひいては「政策立案力」を問われるような、上記の「到達目標」に書かせて頂いた各種の試験(その典型が国家総合職「政策論文」試験です)を突破し、かつ特にそのレベルが高度なものとなる国家総合職「官庁訪問」等においても高評価を獲得して頂くための基礎力の涵養を目指す講義展開を予定しています。

<講義予定>

1	1・2・3 コマ	「行政」とは何か：その存在理由、その構造と機能、行政内部及び民間部門等の他セクタとの役割分担や相互連携について 等
2	4・5・6 コマ	「政策」とは何かⅠ(総論篇)：その存在理由、その「担い手」と「手段」の諸相、いわゆる「政策プロセス」の在り方について 等
3	7・8・9 コマ	「政策」とは何かⅡ(各論篇)：近年の我が国における代表的な「政策」に係るケーススタディとその分析及び“次善の策”の検討 等
4	10・11 コマ	「政策論文」対策Ⅰ：その傾向と対策、重要過去問研究(添付資料の読解を含む)、試験委員研究、「予想問題」配布 等(「政策課題討議」の研究も含む)
5	12 コマ	「政策論文」対策Ⅱ：「予想問題」フォローアップ、その他の重要出題予想テーマの検討 等

Syllabus

科目	総合職1次試験対策直前講義(数的処理)
担当講師	平井 俊久
回数(コマ数)	4回(8コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	数的処理を受講した者
受講生の到達目標	16問中13点以上の得点を狙う

講義内容		
重要な問題をピックアップした過去の本試験問題を1問ずつ解答してもらい、その都度解説する。最後まで粘り、解法テクニックを掴んでいただきたい。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	国家総合職本試験問題平成18～20年
2	3・4	国家総合職本試験問題平成21～23年
3	5・6	国家総合職本試験問題平成24～26年
4	7・8	国家総合職本試験問題平成27～29年

Syllabus

科目	総合職1次試験対策直前講義(英語)
担当講師	西尾 俊哉
回数(コマ数)	1回(2コマ)
受講対象	国家公務員総合職合格コース(法律職)
必要な知識	文章理解を受講した者
受講生の到達目標	文章理解英語出題 7問中5点以上の得点を狙う

講義内容		
文章理解の内、英語のみを扱う。問題パターンである内容一致問題、整序問題、空欄補充問題について、ピックアップした問題を解答していただき、その都度解説する。最後まで粘り、解法テクニックを掴んでいただきたい。		
回数	コマ	講義予定
1	1・2	オリジナル問題および本試験過去問題